

# 手作り漢字カルタを使った漢字学習

# 最優秀賞



福井県 福井市豊小学校  
教諭 中谷 幸子

福井県では「白川文字学」を活用した漢字学習に取り組み、その指導の手引きともなる「楽しい漢字学習」を効果的に使って、漢字を学ぶ楽しさを子ども達に伝えています。さらに、自分で作った「漢字カルタ」を学習に取り入れることで、子ども達が主体的に漢字学習に取り組むようになっただけでなく、家庭へも漢字学習を広げることができました。このたびは、授業の中で継続して取り組んできた実践に対して賞をいただき、改めて漢字教育における授業の大切さを感じました。これからも、子ども達の思いにそった授業実践を進めていきたいと思ひます。

## 実践の概要

- ・「楽しい漢字学習」を使って漢字カルタ作りや文作りをする。
- ・「漢字カルタ」を使って、いろいろな学習活動へと発展させる。



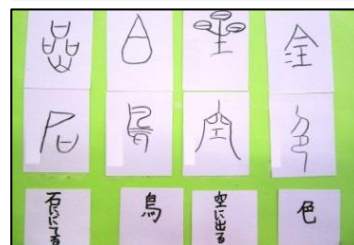
## 実践内容

### 1 「楽しい漢字学習」の活用

「楽しい漢字学習」は意味のまとまりのある漢字ごとに学習できるようになっている。古代文字の形から意味をイメージさせることで、漢字が人々の生活に結びついていることが意識づけられる。漢字の成り立ちについて学習し、文作りをすることで、子ども達も漢字を今の生活と結びつけながら、文作りをすることができた。

### 2 「漢字カルタ」を使ったいろいろな学習活動

学習した漢字を画用紙で作ったカードに書いて、「漢字カルタ」を作っていた。この手作りの「漢字カルタ」は学習を積み重ねていくことで増えていき、子ども達の学習の足跡となった。また、「漢字カルタ」を作るだけでなく、それを使って親子で神経衰弱のゲームをしたり、漢字の熟語を作って漢字クイズを楽しんだりするなど、楽しみながら漢字を学んでいく意欲を継続することができた。



## 実践の成果

「漢字カルタ」のよさは、一つに「子ども自身の手で作られている」ということである。そのため、だれよりも、作った子ども自身がその「漢字カルタ」を大切に使う。二つ目は、全員が持っているということである。学級に一つではなく、全員が持っているから、様々な学習形態に対応できる。グループでのカードゲームや、ペアでする当てっこゲーム、熟語作り等、子ども達自身がいろいろな使い方を考えていく。そして、三つ目は、1年間を継続し、自分達の漢字の学習を「漢字カルタ」にして積み重ねていけることである。休み時間に進んで漢字カルタを作ったり、家で「漢字カルタ」を作って増やしてきたりする子もいた。漢字の学習が「宿題」ではなく、「やってみよう」と思えることとして子ども達の心の中に芽生えたことが何よりの成果である。